

六甲山牧場

動物に親しむ「秋まきば」

高い空とおいしい山の空気を楽しむには最高の季節。六甲山牧場では10月9日～11月3日、恒例のイベント「秋まきば」を開催する。

10月9、10日はホースショーや蹄鉄投げ大会、ローリング体験など、馬にまつわる催しが盛りだくさんの「カウボーイフェスティバル」。同17日はクイズを解いて牧場内を巡りながら該当する動物を見つける「まきばからの挑戦状」。同31日は牛の飼育員が解説する「牛和牛教室」。ほかにも期間中は多彩なイベントがあるので、詳しくはホームページ(<https://rokko-san.jp>)でチェックを。



秋の牧場で動物たちと触れ合おう
乳製品やホールクラフトの手作り体験、搾りたての牛乳や自家製チーズの料理など、牧場ならではの味覚もぜひ味わいたい。同牧場 078-891-0280

ロコノマド

宿泊できる山上オフィス

六甲山上に今春オープンした、泊まれる森のシェアオフィス「ROKKONOMAD(ロコノマド)」。仕事に集中できるワークルームやくつろぎスペースのソーシャルルームで、思い思いのワークスタイルを楽しんでいる。



自然の中で仕事に集中できるロコノマドのワークルーム

653カフェ

広大な庭を自在に満喫

六甲ケーブル「六甲山上駅」を降りたら、すぐ目の前にある「653(ロッコウサン)cafe」。子どもたちが芝生や森で大はしゃぎしたり、たき火を囲んで仲間と語り合ったり、パソコンでワーケーションしたり、音楽を楽しむ野外ステージになったり…。広大な庭の使い方は、多彩で自由だ。

季節ごとに変わることの多い限定メニューや季節のデザートもおすすめ。テラス席やソファ席以外にも、庭の中で自分で特別席を見つけるのも楽しい。家族や仲間との心地よい時間を、オリジナルメニューと共に満喫しよう。



653カフェの広々としたテラス席
営業日や営業時間は山の天候により変更するので、ウェブサイトや電話で確認を。また土・日曜と祝日は前日まで予約を受け付け。平日は当日でも席の予約ができる。 078-891-0218

ハイキングで巡る芸術の秋



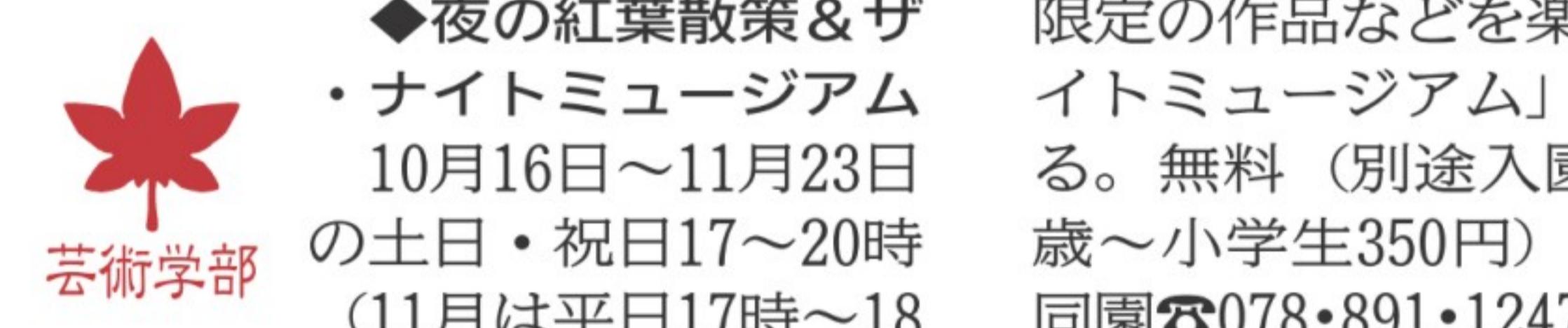
周辺で一番標高が高い自然体感展望台「六甲枝垂れ」の氷棚にある飯沼英樹氏の木彫作品。雄大な眺望と共に鑑賞できる



廃墟となった旧摩耶觀光ホテルで制作された作品の数々を展示する「旧パルナッソスの休憩小屋」



六甲高山植物園の緑の中に置かれた本のオブジェ。中に描かれた「おはなし」を読んで楽しむ作品



◆夜の紅葉散策＆ザ・ナイトミュージアム

10月16日～11月23日の土日・祝日17～20時(11月は平日17時～18時半、受け付けは閉園30分前まで)、六甲高山植物園(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「高山植物園」)。まるで錦絵のように色づく紅葉を美しくライトアップ写真。昼間とはひと味違う幻想的な景色を楽しめる。休日限定で17時半から夜の敷地を案内する園内ガイドもある。「六甲ミーツ・アート」関連イベントとして、高橋匡太さんによる夜間



限定の作品などを楽しむ「ザ・ナイトミュージアム」も同時開催する。無料(別途入園料700円、4歳～小学生350円)。荒天中止。同園 078-891-1247

◆明和電機メカニカル・コンサート in 六甲山

11月23日まで、平日10～16時の1時間ごとに各回30分間、土日祝日10～16時の30分ごとに各回20分間。ROKKO森の音ミュージアム

の音ミュージアム(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」)、森の音ホール。開催中の「六甲ミーツ・アート芸術散歩2021」関連イベント。同ミュージアムのコレクションとオマターン=写真=などのオリ

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第4火曜日に掲載します)

「六甲ミーツ・アート」11月23日まで

六甲山の秋の風物詩「六甲ミーツ・アート芸術散歩2021」が開催されている。今年で12回目となるアートイベントで、今年はJR三ノ宮駅前にサテライト展示が登場している。筆者は初回から一度全国から多くのアートファンが訪れる、山上は独特的の華やいだ雰囲気に包まれる。

7月に庭園を大きくなりアルしたROKKO森の音ミュージアム、秋の花や紅葉に彩られる六甲高山植物園、

周辺で一番標高が高い自然体感展望台「六甲枝垂れ」の氷棚にある飯沼英樹氏の木彫作品。雄大な眺望と共に鑑賞できる

人建築家ミケーレ・デ・ルッキ氏が修復を手掛け、六甲サインスリゾートとして生まれ変わった旧六甲山ホテルな

どは、建築そのものを見どころ。また、六甲スカイヴィラ

迎賓館、「旧パルナッソスの休憩小屋」など、ふだんは非公開の施設に入れる貴重な機会もある。

ほかにも、記念碑台をはじめ、山上のあちこちに会場が点在しており、気候のいい時巡るとさらに充実する。

スが、じっくりと鑑賞すれば、1日では回りきれない

けれど、1日では回りきれない

根岸真理が案内
山の四季便り

ねぎし・まり アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点としている。著書に「六甲山を歩こう!」など。

モデルコースを考えてみた。六甲ケーブル山上駅を起點に、各人スポットをつけないで、各自でアート鑑賞ができるのが魅力。安藤忠雄の教会三部作の一つ「風の教会」、イタリア人建築家ミケーレ・デ・ルッキ氏が修復を手掛け、六甲サインスリゾートとして生まれ変わった旧六甲山ホテルなど、自然体感展望台「六甲枝垂れ」など、自然を楽しむ施設でアート鑑賞ができるのが魅力。

◆トキガミシリーズ 第5弾!!六甲山山歩き 謎解きクエスト「六甲王国とアスレチクスの要塞へ黒い魔法使いの陰謀~」 11月23まで10～17時(受け付けは15時まで)、六甲山アスレチックパークGREENIA(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「アスレチックパーク前」)。周遊型謎解きゲームの第5弾。謎解きキットを購入して、グリーニアの各所に仕掛けられたヒントやアイテムを見つけ出す。おうちで楽しむ持ち帰り謎(本格謎解き)付き。1キット500円(別途入園料3000円、学生2500円、小学生2000円、4～6歳1500円)。予約不要。同園 078-891-0366

◆トキガミシリーズ 第5弾!!六甲山山歩き 謎解きクエスト「六甲王国とアスレチクスの要塞へ黒い魔法使いの陰謀~」 11月23まで10～17時(受け付けは15時まで)、六甲山アスレチックパークGREENIA(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「アスレチックパーク前」)。周遊型謎解きゲームの第5弾。謎解きキットを購入して、グリーニアの各所に仕掛けられたヒントやアイテムを見分け出す。おうちで楽しむ持ち帰り謎(本格謎解き)付き。1キット500円(別途入園料3000円、学生2500円、小学生2000円、4～6歳1500円)。予約不要。同園 078-891-0366

◆トキガミシリーズ 第5弾